

令和 2 年度 第 1 回障害者地域自立支援協議会 就労支援専門部会 報告

1. 当日の実施内容

第 1 回就労支援専門部会

日時：令和 2 年 9 月 2 5 日（金） 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

場所：文京シビックセンター 障害者会館会議室 AB

- (1) 令和元年度 就労支援専門部会の振り返り
- (2) 令和 2 年度 就労支援専門部会について
- (3) 文京区障害者就労支援ハンドブック（仮）について

2. 議事内容

- (1) 令和元年度 就労支援専門部会の振り返り
令和元年度の就労支援専門部会の内容と全体会の内容の振り返りを行う。
- (2) 令和 2 年度 就労支援専門部会について
令和 2 年度就労支援専門部会では、「情報共有する上で、障害者就労に関する共通のプラットフォーム（基本情報）になるハンドブックの作成」について検討を行う。また、ハンドブックの作成作業スケジュールについて共有を行う。（別紙資料 1）
- (3) 文京区障害者就労支援ハンドブック（仮）について
他地域での先行事例（別紙資料 2）等を共有し、ハンドブックに関する意見交換を行う。

（委員からの意見交換内容）

- 地域にどんな社会資源があるかは雇用側も知りたい。
- 社会資源 MAP は使いたい。
- ボリュームが多い内容項目である場合、他の場所にも（ホームページなど）記載がある内容は URL なども併記されていると良い。
- 対象を分けるのではなく、皆で共有できる文京区版の特徴を出した内容にできると良い。
- 配布方法も重要。部会などネットワークを活用して周知をしていくことができるのではないかな。
- 就労継続支援 B 型の情報は利用するかどうかだけでなく、企業としては業務の委託先として知りたい場合もある。
- 当事者の方が単独で使うことも考えられるが、支援学校や B 型など支援者と一緒に見て活用できるような、そういったツールとしてであると良い。
- 精神障害のある方向けの相談先フローチャートは以前作成をして配布をしていたが、担当者が変わると配架はされていても手に取るというところまではなかなかいかないことがあっ

た。どのように活用していけるかも考えていけると良い。

- 戸田市のプロセスマップはわかりやすく良い。企業就労を希望されている方が、支援側としては B 型から始めた方が良いのではとギャップがある方と、プロセスマップのようなものを活用し、現状などを一緒に確認する際に活用できそう。
- ニーズに応じていくつかのカテゴリーに分け、フローチャートができると活用しやすいと思う。
- 大卒はハンドブックを見て、細かいところはホームページを参照するなど、インターネットで調べる方が多くなっている中、URL の記載などがあると便利だと思う。
- 盲導犬ウェルカムのお店や点字メニューのある居酒屋などの情報を仕入れて入れ込むなど、当事者の方からの支店もいれて作成できると良いと思う。

作成作業スケジュールについて



他地域の先行事例

主な内容	地域	ページ数	名称
フローチャート	一宮市	1	相談先たどりつきチャート
フローチャート 地域の社会資源	戸田市	23	戸田市障害者就労プロセスマップ
フローチャート 地域の社会資源 地域の社会資源	加古川市	30	就労サポートブック「はたらく、働き続ける ～一般就労を目指して～」
地域の社会資源	福井市	93	福井市障がい者就労支援ガイドブック
地域の社会資源	一宮	71	就労支援機関ガイド
地域の社会資源	大分市	84	社会資源ガイドブック
地域の社会資源	松戸市	93	松戸市障害者就労施設等事業所ガイド ブック
事例	武蔵野市	35	障害者雇用事例集～ともに働くための ちょっとしたヒント～
自立支援協議会以外で作成			
事例	札幌市	35	障がい者雇用のためのハンドブック
制度・地域の社会資源	千代田区	47	千代田区障害者就労支援ハンドブック
地域の社会資源(精神)	文京区	53	文京区心の健康ガイド～精神保健福祉 マップ～